

研究公正ワークショップ

# 研究公正に関する ヒヤリ・ハット事例から 学ぼう！

参加費  
無料

日時 ※各回の内容は同一です。

第1回  
2021年 1/28 木 13:30~16:30

第2回  
2021年 3/4 木 13:30~16:30

1つの重大事故の陰には29の軽微な事故と300の事故には至らないヒヤリとした・ハットしたできごとがあるとされており（ハインリッヒの法則）、様々な組織で事故防止のために、ヒヤリ・ハットの段階で情報を共有し、対策が講じられています。研究不正においても同様で、研究不正に至ることなく踏みとどまれた好事例において、どのような状況において、どのような思考・会話・助言があり、思いとどまることができたのかを知ることは、研究公正のために非常に有用であるはずで

す。本ワークショップでは、研究倫理教育の実施や企画に携わる方がヒヤリ・ハット事例についての考察や議論を行い、研究公正についての新たな気づきを得て、より深く学ぶことを目指します。

## 定員

各回 36名

## 開催形式

Zoomを用いたオンライン形式

## 対象者

研究倫理教育を実施する大学教員  
企画を行う担当部門の責任者

## 講師・ファシリテーター

片倉 啓雄（関西大学 化学生命工学部 教授）  
岡林 浩嗣（筑波大学 生存ダイナミクスセンター 講師）  
金井 康郎（田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 主幹）

## 主なプログラム

講演 研究公正に関するヒヤリ・ハットとは（webにて事前に聴講）  
グループワーク① 仮想ヒヤリ・ハット事例の分析  
グループワーク② 仮想ヒヤリ・ハット事例における相反問題（ジレンマ状況）の検討

議論の共有

## お申し込み・お問い合わせ

右記サイトよりお申し込み・お問い合わせください。

- ※先着順に受付、各回の定員に達した場合、参加登録を締め切ります。
- ※ワークショップのご参加にあたっては、講義ビデオの事前聴講や、事前課題への取組をお願いしますのであらかじめご準備ください。
- ※また、経験者の方にはグループワークでの司会をお願いする場合があります。



<https://ex2020.jp/amed/>

### 参考資料

AMED 「研究公正に関するヒヤリ・ハット集」



問い合わせ先(受注会社)：EY 新日本有限責任監査法人

メールアドレス：RCR2020@jp.ey.com 電話番号：050-8888-0361 FAX 番号：050-6868-2025

主催



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development